

開設科目名	科目：建築材料学										担当教員：藤平眞紀子							
開 講 期	前期			授業方法：講 義				単位数：2単位				週時間：2時間						
対 象 学 生	2回生			科目番号：065140														
授業の概要	建築物を構成している主な材料の基本的な性質について概説する。主として、木材、鋼材、コンクリートについて、種類や基本的な物性、力学的な性質および耐久性について説明する。また、部位別に建築材料に求められる性能について説明し、適材適所な使い方について考えていく。																	
学 習 ・ 教 育 目 標	①木材および木質材料について、種類や基本的な物性、力学的な性質および耐久性を理解する。 ②鋼材、コンクリートなどについて、種類や基本的な物性、力学的な性質および耐久性を理解する。 ③部位別に建築材料に求められる性能を理解する。 ④建築材料の適材適所な使い方を理解する。																	
	対応表	A			B		C				D			E		F		
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	F-1	F-2	F-3
							○	◎			○							
キーワード	建築材料、木材、鋼材、コンクリート																	
授 業 計 画	第1回：木質資源、木材の利用と供給 第2回：木材の組織、木材の性質 第3回：木質材料の性質 第4回：鋼の組織、鋼の性質 第5回：セメントの種類と性質 第6回：骨材の種類と性質 第7回：コンクリートの種類とフレッシュコンクリートの性質 第8回：硬化コンクリートの性質、コンクリートの調査 第9回：石材、ガラス、陶磁器の特徴 第10回：屋根葺き材料（種類と特徴、要求される条件） 第11回：外壁材料（種類と特徴、要求される条件） 第12回：内装仕上げ材料1（種類と特徴、要求される条件） 第13回：内装仕上げ材料2（種類と特徴、要求される条件） 第14回：開口部など（種類と特徴、要求される条件） 第15回：期末試験																	
教 科 書	教科書は指定しないが、講義時に必要な資料を配布する。																	
参 考 書	参考書は指定しないが、関連する図書を随時紹介する。																	
成 績 評 価 方 法	期末試験：授業内容の理解を問う試験によって評価する。 レポート：事例をもとに、建築材料の適材適所な使い方の検討、および適切な使い方の提案より評価する。																	
評価割合	定期試験 （中間・ 期末試験）	小テスト・ 授 業 内 レ ポ ー ト			宿題・授業 外レポート		授業態度・ 授 業 へ の 参 加 度		受 講 者 の 発 表 （プレゼン）		出 席				合 計			
	70%	%			30%		%		%		%		%		100%			
備 考	A～Fは住環境学科（専攻）の学習・教育目標である。具体的内容については住環境学科のホームページを参照のこと。 連絡先：E410（藤平） オフィスアワー：毎週月曜日15時～17時																	